



はくば



議会だより

127号



1月14日。朝から集まり、この夜のおんべやきに使われる長さ18mにもなる竿の「花づくり」に精を出す。この先ずっと残していきたい大切な伝統行事だ(飯田区)。

■ 村政を問う 一般質問 8

- ・ 今後の水道料金の見直しは 9
- ・ 図書館事業の進める順序が逆では 10
- ・ 観光局は会員の満足度のアンケートを 11
- ・ 南部グラウンド契約期間が過ぎている 12
- ・ 外国籍所有の宿泊施設の現状は 13
- ・ ヤフーとの連携協定は 14
- ・ 外国人生徒へ更なる日本語教育充実を 15
- ・ 図書館複合施設への村長の考えは 16
- ・ 区への加入促進の指導ができないか 17
- ・ 43%の住民が新公共交通を希望だが 18

■ 意見交換会

賑わいのある村にするために
私はこう考えます !! 2

■ 常任委員会審議

人事院勧告による給与改正と条例制定3件を可決 4
地区作業軽減など陳情2件を採択 5

■ 閉会中の活動

図書館見学・学校関係者との懇談・スノーピーク本社視察 19

■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 20

村にするために 考えます!!

村民と議会の 意見交換会

意見交換会

自然・景観 土地利用

最近の慌ただしい開発の動きは、 観光財産を失うのではと危惧

- 自然にあこがれ、好きで移住してきたが、家庭菜園をしたくても畑がない。市民農園が欲しい。
- 村内には大きな公園がない。遊具のある公園を言うのではなく、自然の中で遊べる公園、ゆつたりとした空間が欲しい。
- 朝や夕方にウォーキングしているが、公衆トイレが少ない。ウォーキングしていても、休むベンチがあれば自然の景色も楽しめると思う。
- 環境や景観は厳しい条例を策定すべき。このままいったら白馬の素晴らしい景観は失われてしまう。
- 休耕田の増加が気になる。里山や景観を守るために村はこういう形でやっているという姿勢を見せるべきだ。大切にしたいところが守られていない。
- 白馬の観光の目玉は、「やま・里山の自然・澄んだ空気」。里山の景観を損なうような「規制緩和」は、命取りに…。最近の

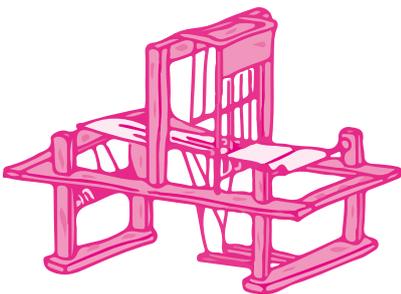


- 建物が増えて込んだ里山の背景にした北アルプスの山々は、美しく見えない。今こそ「自然豊かな観光立村白馬」のターニングポイント。議会と行政は身近な利害関係者の意見だけでなく、いろいろな立場の人の話を聞く配慮と努力が求められる。
- 移住者の終の棲家にふさわしい景色の良いところに、村営の共同墓地を！

観光・農業・ 産業振興

隠れた観光資源、 農村文化の掘り起こしを！

- 観光データの収集をしつかり行い、次への政策に繋げるべき。正しいデータが収集されていないのではないか？
- 隠れた観光資源として、農村文化の掘り起こしをしてほしい。歴史や文化の散策が出来る里山コースの整備など(道を良くすることなく)。
- 基幹産業は観光。観光が村をつくっている。観光で賑わう村になって欲しい。
- 自分たちで作ったお米



- 人口が増えなくても単価が上がれば、一人一人の収入は上がる。
- を食べる。白馬産米を食べる。流通を変えないといけない。そばも同じ。

テーマ・ 意見交換会

出た意見に どう対応？

- テーマが曖昧過ぎてコメントに困る。具体的なテーマを持つべき。
- 出た意見に議会がどのようなアクションを取ったか、またそれらの意見を発表する機会を作るべき。
- 観光立村白馬の場合、多くの住民は「土、日曜日」は観光客の対応に追われるので「住民の意見を聞く」のに週末は避けるべき。

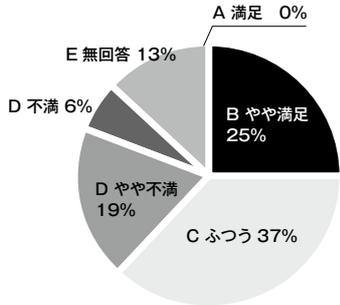


人口減少社会に 立ち向かう

10月28日開催

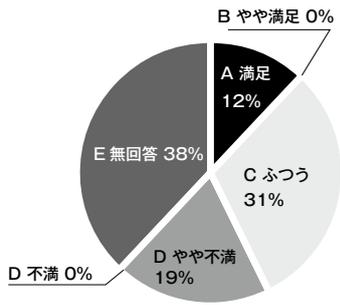
賑わいのある 私はこう

アンケート結果



テーマは？

「賑わいのある白馬村にするために」というテーマで、グループに分かれて話しあう意見交換会はどうでしたか？満足した方は0人という結果。不満と回答した方に「漠然としすぎているため、自由な発言が多く出ていた」とのコメント。



自由な発言の時間は？

参加者が自由に発言できる時間はいかがでしたか？2人の方が満足と回答。半分の方はあまり満足していないという結果。不満の理由として「時間不足」が挙げられた。時間的配慮が必要と思われる。

● 行政側も住民の声を直接聴く場を設けるべきだ。意見交換会を開催していることには評価しているが、他の行事と重なったため参加者数がこの程度である原因を、主催者はどう考えているのか。(女性・70代以上)

● 議員は自分自身で「テーマ」を持って、自分の足で意見を聞きに行くことも必要ではないか。(男性・40代)

その他の感想・意見

● 「インバウンド」をやめた方がいいという意見が出た。現実的には難しいと思うが、外国人客の増加に振り回されている。足元の国内観光客を大事にする施策をもっと取らなければいけないのではないか。(男性・60代)

● 次に担う世代(20代〜50代)が参加出来ていないのでは…。テーマをもっと絞って、具体的に前進できる方向を考えてほしい。村民と共に。(女性・70代以上)

子育て・福祉・ 移住定住政策

教育環境が充実すれば、 必然的に人は集まる

● 賑わいとは、安心して暮らせる、子供が増える、観光客が増える。

● 子どもの声がしないのは賑わいがないと言える。

● 教育に予算を多く使うべき。すばらしい教育環境や教育者がいれば、必然的に人は集まる。人づくりに尽力して欲しい。

● 移住者に対してお金を出すという対策、特に若年層に対して支援をしないのはいかがかと思う。住みやすくすれば出ていく人が少なくなる。



● なるのではないかな。

● 暮らしやすい村に！村民の足を考えた交通体系の整備や移住者を多くする政策を行うべき。

● 地域の足の確保は住民にとって大切なこと。

議会・税金・ 行政運営

議会と住民で シンクタンクの立ち上げを！

● 別荘から税金を取れないか？

● 外国人が入ってきていて、儲かっている。住むのは半年。それっておかしくないか？

● 議員は志をもって当選した者であるから、自らの信念に基づき自信を持って行動すべき。

● 議会が一つになり、住民とシンクタンクを立ち上げたらどうか。

● こういう場をたくさん持つてもらおう！対話を重ねる。



● 世代を超えて集まれる場を議会が中心になって作って欲しい。

● 結果を重視した政策にしてゆくべき。特に外部登用の職種は厳しく結果にコミット出来たか検証すべき。

総務社会委員会

人事院勧告による 給与改正と条例制定3件を可決

力化の取組みに賛同した企業からの寄付を基金化。
▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●工事変更請負契約の締結

学校給食センター工事の防水部材変更等による216万円の増額契約。

問 アスベストの封じ込めは煙突に蓋をするだけか。

答 問題はない。煙突を撤去する時に同時に行う。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●北アルプス広域連合規約の変更

感染症病床を大町総合病院に無償譲渡したための規約改正。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●ふるさと白馬ひとづくり基金条例の制定

企業からの寄付金等を財源に、村に定住する若者に対して奨学金の返還を支援。

問 対象者は白馬高校卒業生だけか。

答 白馬高校のみ。同校魅

●地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の制定

未来投資促進法による地域経済牽引事業を行う事業者が新築する建物の固定資産税について新規課税から3年度減免措置を行う。

問 村が事業にどのような関係についていくのか。

答 事業者の商品等も活用しての防災拠点づくり。地場産品の開発、展示などでバックアップする。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●学校給食センター条例の制定

新給食センターの運用開始にあたり条例を制定。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
●特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正

ともに人事院勧告に基づき12月期末手当を0.05ヶ月分引き上げ、6月・12月期末手当支給率をそろえる条例改正。一般職給与表は若年層のみ千円程度引き上げ。

問 3つの条例改正で総額はいくらになるか。

答 総額で約250万円。

▽委員長を除く委員全員の賛成により各条例改正はそれぞれ可決

●国民健康保険税条例の一部改正

課税方式を4方式から資産割を廃止した3方式に改め、また税総額を見直し3%の減額改正。

問 この減額によりいくつ頃赤字会計になるのか。また引き上げの予定は。

答 1億6千万円基金があるので平成36年頃を想定。赤字率が5%を超えた場合又は基金が1億円を下回った場合は引上げを検討する。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●高齢者祝金条例の一部改正する条例

百才以上に毎年支給していたものを百才に達する者に改め、支給額を1万円から3万円に改める。

●一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ1308万3千円を追加し、歳入歳出予算総額を64億4752万9千円とするもの。

総務課

一般職の給与、特別職の手当の増額及び嘱託職員報酬の引き上げ、また退職者関連等の人件費が主なもので1400万円減。企画費増額でふるさと納税返礼品4698万円など。

問 ふるさと納税額はどれほどか。

答 11月中旬時点で前年比113%、1億879万円。

税務課

職員の退職などに伴い、307万の減額。退職者の対応は。

問 12月から1名補充した。

答 住民課

塵芥処理事業34万8千円はごみ小規模ステーション1基分。

問 収集方式が統一された。ガイドブックも三市村で協力作成しては。

答 三市村合わせていく事は大事なこと。住民への周知をしていきたい。



活用の見直しが迫られる、雪に埋もれたヤフー白馬ベース。

健康福祉課

利用者減少により、自立支援給付費を1254万6千円減額。

教育課

南小の学校給食費と共同調理場事業費を学校給食センター事業費への組み換えなど。

問 2施設から1施設に統合されたのに経費が増加するのはなぜか。

答 エアコン完備が一番大きい原因。新たな調理機器の関係上からも光熱費が上昇する。

子育て支援課

人件費関連242万円の減額。

生涯学習スポーツ課

スノーハープ橋梁設計管理委託料1055万2千円は緊急性の高い事業が発生したため先送り減額。文化財保護事業83万9千円は唐松沢氷河調査費増。南部グラウンド工事請負費480万円減額は入札差金。

▽委員長を除く委員全員の賛成により所管事項は可決

●国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ34万7千円を増額し、歳入歳出予算総額を11億4799万5千円とするもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

陳情案書

●陳情第8号 「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書提出

▽委員長を除く委員多数の賛成により採択

●陳情第10号 安全や安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出

医療・介護現場の深刻な人手不足改善のため、配置基準を国の責任で早期に実施することを求める意見書提出の陳情。

▽委員長を除く委員全員の賛成により採択

地区作業軽減など陳情2件を採択

産業経済委員会

●工事委託に関する変更協定の締結

汚泥脱水機器類の更新工事の精算による減額。▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●工事委託に関する変更協定の締結

浄化センターの監視制御設備の更新工事に関する協定額の変更。

問 5300万円もの減額だが、予算を計上する時点において予想はできなかったか。

答 認可変更から補助金要求までに時間がなかった。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決

●一般会計補正予算(第6号)所管事項

農政課

林業振興費森林整備事業の備品購入費に114万5千円など。

建設課

無電柱化に関わる調査委託費45万円の増額。道路維持補修事業300万円の増額。燃料費高騰による除雪事業77万6千円の増額など。

観光課

3月10日までの10日間のナイトシャトルバス実験延長分業務委託料として181万5千円を増額。利用料46万円を見込む。商工会の創業塾開催に対する元気づくり支援金や村の補助が終わったため、自主財源確保策の「経営発達支援計画策定業務」取り組みに64万8千円の増額助成。

反対討論

職員人件費の引き上げは、厳しい財源状況を考えると適切ではないと考えるため反対。

▽委員長を除く委員多数の賛成により可決

●下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から4002万9千円を減額し、歳入歳出の

総額を8億6650万6千円とする。

分担金177万1千円の増額は下水道区域外分担金の増額。修繕費用180万4千円など220万4千円の増額。

問 下水道区域外流入の件数と地区はどこか

答 和田野地区で2件。

▽委員長を除く委員多数の賛成により可決

●水道事業会計補正予算(第3号)

▽委員長を除く委員多数の賛成により可決

●陳情第7号 白馬山案内人組合創立100周年記念事業助成に関する陳情

白馬山案内人組合が2019年度に創立

100周年を迎えるにあたり、記念事業推進に助成を要請するもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により採択

●陳情第9号 白馬村行政区(神城地区)地区作業の軽減に関する陳情

国道、県道、河川の路肩および歩道の草刈り、堆積土砂撤去の定期的な実施、予算確保と管理体制整備の要望書を長野県知事等へ提出。大型草刈り機の導入など各地区の負担軽減対策を取るよう村長に要請。

意見

これは村全体の問題なので、神城地区だけでなく全体の意見書として委員会で提出すべき。▽委員長を除く、委員全員の賛成により採択



山の魅力の伝道師
白馬山案内人組合

産業経済

質疑・討論・発議

議案65号 工事委託に関する変更協定の終結

【質疑】加藤亮輔議員

問 1億8千3百万のうち、約30%の5千3百万円の減額だが内容は。

答 当初、監視制御設備を遠隔操作の設計としたが、施設ごとの制御方式に変更したため、ソフト制作費用及び消費税等で減額となった。

問 課内で当初予算、変更等を精査する体制が確立されているか。

答 今回の更新は、異例のパターンで補助金申請が先でその後実施設計を行う流れになった。

問 当初の計画を変更したが支障はないか。
答 モニター監視は事務室で行えるようになってきている。支障はない。

議案第71号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【反対討論】伊藤まゆみ議員

村長の「宿泊税ありきではない」との弁にも関わらず、財源がないなら知恵を集めたいのか、ズクを出したのか。そういったこともせずに、報酬・給与を増額することにどう説き及ぶのか。言葉がないので反対。

陳情第8号 「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について

【反対討論】田中榮一議員

陳情の趣旨は十分理解。高齢化社会を迎え日本の国民皆保険制度は世界に誇れる制度だが、持続可能な制度であるのか不安なのが現実。

厳しい生活環境下で保険料を負担している現役世代からの、健康保険に対する厳しい声があることは周知の通り。この制度が破綻しないためには、どうしたらいいのか皆で考える必要がある。この意見書案はその部分の文言が不足しているので反対。

【賛成討論】加藤亮輔議員

内閣府の調査では、65歳以上の高齢者世帯の年間所得は300万5千円。貯蓄現在高は249.9万円。一方、「下流老人」の著者藤田孝典氏は65歳以上の相対的貧困率は22%、特に単身高齢者女性世帯では52.3%と高く、今後9割が貧困化すると警鐘。

発議3号 降雪機を設置する企業に支援を求める意見書

【提出者】田中榮一議員

地球温暖化傾向にある昨今、12月中旬になっても降雪に恵まれずオープンできないスキー場が今年も本州で数多く存在し、降雪機による雪づくりが必須条件。ヨーロッパのスキー産業も日本と同様に雪不足に悩まされ、降雪機に頼っている。

近年、少子高齢化社会の訪れはスキー人口の減少を招き、村経済にとって大き

な痛手であったが、国の観光施策であるインバウンド事業により明るい日差しが見えてきている。

しかし温暖化による近年の雪不足で、住民は不安な生活を余儀なくされている。気温さえ下がれば雪づくりが可能な降雪機の設置で、地域経済に及ぼす効果は計り知れない。

村内事業者のほとんどが降雪機を導入

しているが、機械の老朽化・必要とされる標高の高い箇所への設置等には更なる高額の投資が必要で、二の足を踏んでいるのが現状。

降雪に一喜一憂しない安定した観光振興による地域経済活動は、スキー産業に携わる誰もが望んでいるところであり住民の願い。国に対し「降雪機を新設する企業に対する国庫補助金の創設」を要望。

待望の学校給食センター、ついに完成！



12月15日(土)に白馬村学校給食センターが完成し、披露式典と村民自由参加の内覧会が行われた。概要は総事業費9億2071万円で、内訳は設計管理2766万円、本体建設費8億1534万円、厨房・事務用品・車両費等4747万円、用地費3023万円。
財源内訳は、国からの交付金は4920万円、地方債6億1620万円、基金から4500万円、一般財源2億1030万円余り。
施設の特徴は、雑菌の繁殖を抑えた水が飛散しにくい構造としたドライシステム採用。食材の下処理や調理エリアが明確に区分され、食物アレルギー対策の専用調理室も備えている。中学校と接続し、調理員と生徒の相互の顔が見え、食育環境にも配慮されている。

子供たちから募集されたイラスト入りのラッピングコンテナ車が、南北小学校へ配食する。

● 12月定例会 議決結果 ●

議決結果

件名(要旨)	議決結果
損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について(村道の穴でタイヤ損傷)	承認 反対:なし
工事変更請負契約の締結について(学校給食センター新築等工事の契約額の増額変更)	可決 反対:なし
工事委託に関する変更協定の締結について(白馬村公共下水道白馬村浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部変更:汚泥脱水機器類の更新工事委託)	可決 反対:なし
工事委託に関する変更協定の締結について(白馬村公共下水道白馬村浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部変更:監視制御設備の更新工事委託)	可決 反対:なし
北アルプス広域連合規約の変更について(市立大町総合病院併設施設、感染症病床の維持管理に関する事務の項を削除)	可決 反対:なし
ふるさと白馬ひとりづくり基金条例の制定について(企業からの寄付等を財源に定住する若者に対して奨学金の返還を支援し、観光人材の育成を目的に基金を設置する)	可決 反対:なし
白馬村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について(未来投資促進法による地域経済の活性化を促すために、承認された牽引事業者が建設する固定資産税を3か年課税免除する)	可決 反対:なし
白馬村学校給食センター条例の制定について(新しく学校給食センターを白馬中学校隣接地、北城2170番地に設置する)	可決 反対:なし
白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について(特別職の職員の給与に合せて今年度12月の期末手当を0.05か月引き上げ、来年度からの6月・12月手当支給率を同じく1.675か月分にそろえる)	可決 反対:伊藤・加藤
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について(人事院勧告による給料表等の改定)	可決 反対:伊藤・加藤
白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について(議員報酬及び費用弁償の条例と同じく今年度12月の期末手当を0.05か月引き上げ、来年度からの6月・12月手当支給率を同じく1.675か月分にそろえる)	可決 反対:伊藤・加藤
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について(国保税の課税方式を4方式から3方式に改め、総額の3%を減額した税率改正を行う)	可決 反対:なし
白馬村高齢者祝金条例の一部を改正する条例について(100歳に達する者に3万円の祝い金を支給する)	可決 反対:なし
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第6号)(ふるさと納税返礼品委託事業、学校給食センター事業、ふるさと白馬村を応援する寄附金の増額と、ふるさと白馬ひとりづくり基金の新設による増額補正)	可決 反対:伊藤・加藤
平成30年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)(電算化共同処理事業等委託料の増額補正)	可決 反対:伊藤・加藤
平成30年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第2号)(浄化センター更新事業の議事費確定による減額補正)	可決 反対:伊藤・加藤
平成30年度白馬村水道事業会計補正予算(第3号)(職員の給与条例改正による増額補正)	可決 反対:伊藤・加藤
追加議案(要旨)	
損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について(村道の穴でタイヤ損傷2件)	承認 反対:なし
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第7号)(小中学校のエアコン設計管理委託の増額補正)	可決 反対:なし
白馬村副村長の選任について(横山秋一氏に同意)	同意 反対:なし
降雪機を設置する企業に支援を求める意見書(田中榮一議員からの発議)	可決 反対:なし
[後期高齢者の医療費窓口負担の見直し]にあたり原則1割負担の継続を求める意見書(総務社会委員会発委)	可決 反対:田中(麻)、太田(正)、田中(榮)、津滝
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書(総務社会委員会発委)	可決 反対:なし
白馬村内の地区作業の軽減に関する改善を求める意見書(産業経済委員会発委)	可決 反対:なし

● 陳情等文書 ●

提出者	住所	要旨	審査結果
白馬村大字神城247351 白馬山案内組合 組合長 松本正信	白馬村	白馬山案内人創立100周年記念事業 助成に関する陳情について	採択 反対:なし
長野県北安曇郡松川村5724-335 全日本年金者組合大北支部 執行委員長 井川 恵右 白馬村北城12161 副支部長 桑原 巖	松川村 白馬村	[後期高齢者の医療費窓口負担の見直し]にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について	採択 反対:田中(麻)、太田(正)、田中(榮)、津滝
内山区長 渡邊 宏 佐野区長 中村 徳文 沢渡区長 篠崎 孔一 三日市場区長 吉田 聡 堀之内区長 柏原 恒夫 飯田区長 下川 隆 飯森区長 松本 竹人	白馬村	白馬村行政区(神城地区)地区作業の軽減に関する陳情書	採択 反対:なし
長野市高田276-8 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	長野市	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	採択 反対:なし

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

質問内容

- ・ 今後の水道料金の見直しは…………… 9
- ・ ヤフーとの連携協定は…………… 14
- ・ 図書館事業の進める順序が逆では…………… 10
- ・ 外国人生徒へ更なる日本語教育充実を… 15
- ・ 観光局は会員の満足度のアンケートを… 11
- ・ 図書館複合施設への村長の考えは…………… 16
- ・ 南部グラウンド契約期間が過ぎている… 12
- ・ 区への加入促進の指導ができないか…………… 17
- ・ 外国籍所有の宿泊施設の現状は…………… 13
- ・ 43%の住民が新公共交通を希望だが …… 18

フォトニュース



初の試み：村長室での地区懇談会

問 今後の水道料金の見直しは

答 平成39年度までは据え置きと試算



田中榮一 議員

【水道事業の維持管理】

問 水道事業の現状は、法定耐用年数40年を超えた管路が30kmを超え、老朽化した水道施設は増加傾向。水道ビジョン策定時は、水道料金値上げが必須とされていたが。

答 策定した経営戦略は、平成39年度までの間は、水道料金を据え置きとして試算している。今後の水道料金は、計画期間中から継続的に料金体系の検討を行い、必要な場合は改定を行う。

問 経営計画における収支計画の試算数値は。

答 水道事業における最大の収入は水道料金。各年度の料金収入を2億6千万円台、老朽化施設更新のための国庫補助

金は、補助率を1/4として、各年度500万円から6千万円台、企業債の発行は、各年度1500万円から最大2億2900万円と試算している。

問 国は、経営環境が厳しさを増している水道事業は、統合による広域化を促すため財政支援を固めたが、村の考えは。

答 北アルプス圏域における物理的な事業統合には消極的だが、スマートメーターの導入、水道指定工事事業者を対象とする講習会の開催の面からの広域連携を進めていく。

問 国は、経営環境が厳しさを増している水道事業は、統合による広域化を促すため財政支援を固めたが、村の考えは。

答 北アルプス圏域における物理的な事業統合には消極的だが、スマートメーターの導入、水道指定工事事業者を対象とする講習会の開催の面からの広域連携を進めていく。

問 道路改修の今後の計画は

答 舗装の個別施設計画を策定

【道路改修の今後の方針】

問 住民からの要望が多い道路改良補修修繕は。

答 要望箇所の緊急性や重要性を鑑み、「路面の損傷度合、交通量、児童生徒の通学路、地域の合意形成は整っているか、工事実施の難易度」などを、項目ごとに基準を設けて工事を行っている。

問 舗装修繕についての考えは。

答 村道の管理延長は330km、その内舗装箇所の延長は170km。通常は月2回ほど職員による道路パトロールを行い、穴埋め等をしている。今年度から事後的な修繕対応から、計画的に修繕をすることで、係る費用の縮減と交通安全を確保するため「舗装の個別施設計画」を策定。

問 橋梁の修繕は。

答 昨年度までに管理する橋梁107橋の定期点検が完了し、「第2期橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、橋ごとに健全度を評価し、架橋の環境条件等、総合的に判断し優先順位に基づき順次補修を実施。計画的に維持管理を行い、安全の確保と修繕費の縮減に取り組む。



村内で法定耐用年数40年を超えている水道管は30km
大川橋横にある管路は大丈夫か

問 脳ドック受診者に補助を

答 創設を検討する余地はある

【脳ドック補助】

問 「白馬村第2期保険事業実施計画」が目指す方向性として、脳血管疾病の減少を掲げている。脳ドック受診者に対する補助制度を設置する考えは。

答 ここ数年、本村の脳血管疾患の割合は高い水準で、将来的に重症化予防に期待されるのであれば、検討する余地はある。

問 図書館事業の進める順序が逆では

答 そうは思わない。金額ありきではない



太田伸子 議員

【公共施設維持管理及び整備建設】

問 ウイング21の屋根老朽化が進み雨漏りや点検のためスノーハーブ3号橋の工事費予算の組み替えを行うとの説明を受けたが、費用の見込は。

答 村長 平成10年の完成直後より雨漏りがあり、18年に大改修が行われた。大きな雨漏りは減少したが、近年老朽化により再び雨漏りが増加。平らな屋根部分に屋根をかける工事を想定しており、設計を含め1億円を超える額を見込んでいる。

問 今頃になってスノーハーブ事業との組み替えとは。雨漏りの修繕は去年の今ごろには判っていたはずだと思つが、な

ぜ当初予算で盛りなかつたのか。スपोर्ट課長 当時の雨漏りについては、コーキングで直るのではないかと思つていた。修繕計画がおくれたのも事実。今回一気に解消したい部分は、屋根材と本体がつながっていない部分で、雨漏りよりも屋根の飛ぶおそれがあるので改修を計画。

問 図書館の建設に向けて検討委員会を立ち上げている。複合施設と聞いているが、どのようなものを入れるのか。完成時期、建設用地、建設費用等、村長の考えは。

答 村長 委員会や有識者会議の検討中で、図書館としての機能を見つつ、複合化する機能を具体的に絞っていくと共に、事業費の目安、建設用地についても検討し方向を出していく。事業を進める順序が反対から見ての事業費、建設予定地等を示した中で検討することでは。

問 村長 そうは思わない。初めに金額ありきではなく

問 移住・定住施策

答 移住・定住したいと思つている方からの声は、白馬の住宅が高額で外国の方の購入費用には手が届かない。小谷や大町では移住に手厚い施策があるとのこと、白馬に住みたくても住めないとの意見が聞かれる。土地開発公社の活用のか

平成34年度の建設に向かつて村民に寄り添えるところを最重点に考えていく。

問 土地開発公社の活用の考えは
答 公社の活用は考えていない

どを作る場所、情報が欲しいと聞く。村民農園の開設の考えは。

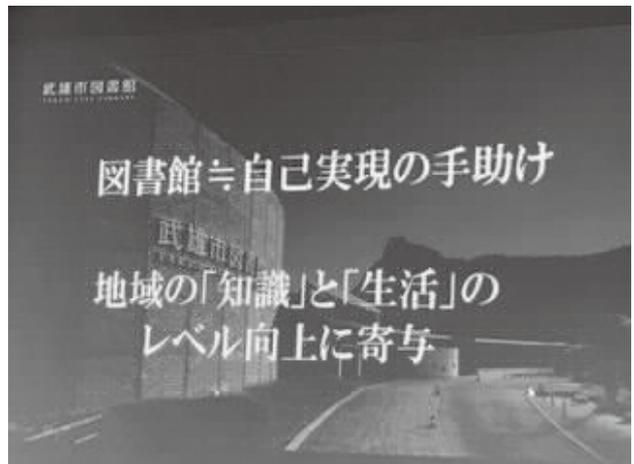
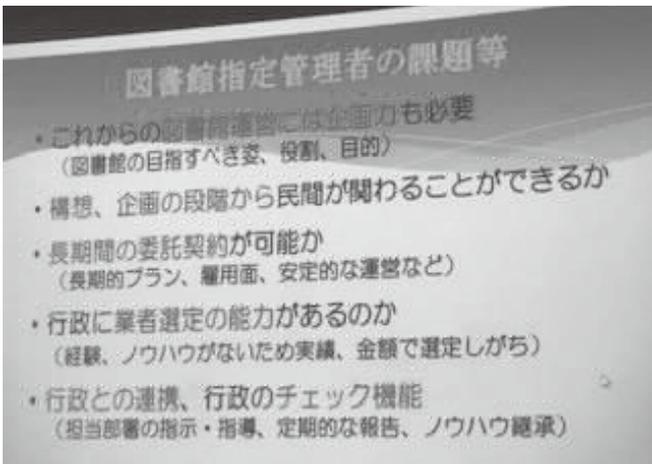
問 移住された方の中には様々な宗教の方がおられ、白馬が好きで山を眺められるような場所に眠りにつきたいと聞く。村営霊園事業の計画の考えは。

答 村長 わずかながら、神城地籍に3区画の貸し出しを行っている。今後区画数の拡大について検討していく。

問 村長 計画の段階にはない。

問 住民の中には、大自然の白馬へ移住したが野菜な

産会社もあることから、公社を活用することは考えていない。



武雄市図書館の考え

問 観光局は会員の満足度のアンケートを
答 会員になり、総会で意見するのが一番



伊藤まゆみ 議員

【観光計画と財源検討】

問 観光地経営計画は現在PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルのどの段階にあるのか。

答 この3年間に行われた事業の整理と評価をし、来年は事業評価する。PDCAで(C)評価の段階。

問 「観光地経営計画」の進捗状況の内容は、各民間事業者が独自で行っている事業、観光局の白馬Aips花三昧、村の第2期白馬村食育推進計画策定、その他として高校生ホテルや平川観察など、既成の活動を寄せ集めただけ。体系的な活動になっていない。これらの事業の財源は、

答 それぞれの事業主体が負担している。

担している。

問 これらの事業は、現在、観光地経営計画とは別に進んでいるもの。財源検討委員会の財源は何を根拠に要求しているのか。

答 今後、村や観光局、各民間の事業主体において進めていくべきであるような内容、それに対して何かしら財源が必要であるという事業。

問 第3回の財源検討委員会前に行われたワークショップ開催の経緯、今後の協議すべき内容と日程は。

答 宿泊業者から財源確保に關し、使途の明確化や時間を重ねた議論を求め、要望があったため、観光地経営計画策定ワーキンググループを対象に10月に2回開催。今後は検討委員会の議論に依るため未定。

問 要望書に対する回答は近々する予定か。

答 藤本副村長「そもそも回答をするものかどうかが、私のほうからは答弁できない

い。少なくともそういったことを踏まえて、今後も検討がなされるはず。

問 観光局の過去と現在の役割、観光地経営計画の中で果たすべき役割は。

答 地域の観光振興をけん引するトップランナー組織の位置づけは変わっていない。計画に謳った観光情報の一元管理、提供に資する事業として、アプリ開発に取り組んでいる。

問 村長公約の「魅力ある観光局への改革」の具体的な内容は。

答 観光客を目的別に分類をし、ターゲットを絞り込み、プロモーションを行う。戦略的な取り組みが変革の一步。このような活動で観光局の存在が評価され、会員増につながることを願う。

問 前回やった会費を半分にすることを改革後も会員は減り続ける一方、アクティビティの予約を局がやる理由は、白馬に来るお客様の満足度を上げるためとの局長の弁。観光局会員の満足度がかわらずに、世の中一般のお客様の満足度がわかるのか。局こそ会員の満足度のアンケートを毎年取るべきではないか。

答 事業者の皆さんに会員になつてもらい、総会でそのような意見を出すのが、局に一番伝わる。

step	プロジェクト運営原則フロー (一般企業でのプロジェクト運営例)	担当部門 (案)	白馬村観光経営計画の判定 (主観)		
			評価	現状	対策
1	現状分析と課題の抽出	事務局	△	多くのデータはあるが、目標設定に使われていない。	将来の村の姿を基にした数値目標の設定。
2	事務局設置	事務局	△	「経営会議全員が責任を持つ体制」(責任の所在が不明確で、誰も責任をとらない)	継続したフォロー責任者の任命(2年交代の弊害打破)
3	経営計画策定 具体的目標設定(定量的)いつ、どこで、何を達成したいか	事務局 外部委託	△	現在の経営計画は表現が抽象的であり実行不可。	定量的な数値目標を設定して、計画を再作成する。
4	実行計画立案 スケジュール、運営体制、費用、外部委託	事務局 WGリーダー	X	既成の活動をまとめただけ。体系的な活動になっていない。	数値目標達成するための具体的な施策抽出が必要。
5	WG運営基本計画立案 スケジュール、運営体制、人員、費用	事務局 WG	X	WGが組織されていない。	WGリーダー、メンバーにより詳細実行計画を策定する。
6	全体キックオフ会議 1~5項の周知	事務局 WGリーダー/メンバー	X	トータルの実行計画が策定されていないので開催できない。	WGリーダー、関係者への周知、協力依頼のために開催。
7	WG活動	WG	X	実行されていない	WG内で本当のPDCA活動を実施。
8	WG、全体定期フォロー会議	事務局	△	外部識者による形だけのフォロー会議でしかない。	WG毎の活動成果フォロー会議にする。

問題だらけの「観光地経営計画」
WG活動を前提とした実行計画が明確でない段階で、財源の検討をするのは時期尚早だ。

問 南部グラウンド契約期間が過ぎている

答 覚書の内容を振り返り方向性を協議



横田孝穂 議員

【村の当面の課題】

問 南部グラウンド村営化に伴う借借契約期間は、平成6年から15年間で、すでに契約期間が過ぎている。新たな契約更新されず大規模改修工事が行われた理由は、

答 締結以来、期間の更新がなされていないことは事実。今日に至るまで、両地区と村が合意する中で村による管理が続いている。当時から懸案として特に雨水対策のための排水整備を進めるとされており、今回の改修工事により懸案事項は解消され、当時の覚書の内容を振り返り今後の方向性の協議を進める。

問 1億2千万円の大事業を更新手続き無しで改修。

土地所有権は2名で法定相続人が発生している。これは積極的な行為を怠った不作為的要素は非常に大である。倫理的に欠け行政としての法令遵守(コンプライアンス)について伺いたい。

答 議員の言われるとおりで、今行政の首長という立場にいて非常に反省が活かされていないと言われましたが全くそのとおりだと反省をしている。職員それぞれもしっかり肝に銘じ、今後進めていかなければと再認識をしている。誠に申し訳ない。

問 国の調査によると、不動産登記簿上での所有者の所在が確認できない土地は全国で20%。当村の現状は、

答 課税や徴収において所有者が特定できない、連絡ができない、納税の告知ができない、税金の徴収ができないといった問題は件数としてはまだ少ないのが現状。将来的には相続放棄などで大きな問題になる要素を含んでいる。村での現状は3法人3個人で筆数は93筆今年度の固定資産税額は13万4700円。

村の無電柱化の内容は。本年度から県の調査費が計上され、駅前200mを第一期の区間とし測量と詳細設計に入り、引き続き占用者との協議を進める。国道駅前通り線480m 県道白馬岳線700mも具体的な検討に入る。

の固定資産税額は13万4700円。

問 村の無電柱化の内容は。

答 本年度から県の調査費が計上され、駅前200mを第一期の区間とし測量と詳細設計に入り、引き続き占用者との協議を進める。国道駅前通り線480m 県道白馬岳線700mも具体的な検討に入る。

問 地域の同じ要望など毎年提出は必要か

答 毎年提出して頂き早く要望に応えたい

【地区役員懇談会】

問 少子高齢化による普請作業要員不足は。

答 集落支援員の活用のほか今年度は重機による草刈等を実施し、地域課題を解決する法人等が活動する資金を援助するしくみも10月創設した。

問 区未加入者の防犯灯等区所有施設利用の不公平感の解消は。

答 共益費をどう定義するかなど各地区の事情もあり、仮に区から未加入者へ請求しても根拠を求められるため、区の規則等で明確にする必要がある。

問 ごみ集積所での地区未加入者への利用対策は。

答 八方清掃センターで受け入れを行っている。利用状況を勘案しパッカー車待機による拠点回収の強化など検討する。



無電柱化推進計画予定地の白馬駅前周辺

問 外国籍所有の宿泊施設の現状は

答 現在建設中の施設を含め多数あり



太谷修助 議員

【外国籍所有の宿泊施設】

問 建物から隣地への落雪でトラブルの指導は

答 雪に限らず、民間である当事者同士のトラブルには行政介入はしない。仮に景観条例の届け出や建築確認に添付されている図面と異なる施工が判明した場合は注意し、場合によっては条例を所管している県に通報することがある。

問 建物の完成に最長でどの位か

答 今年度の長野県景観条例の届け出に基づく最長で1年の物件があるが、あくまでも届出書の期間と理解して欲しい。

問 黒色の建物と村の景観条例の指導と遵守は

答 県条例の届出書に対し、村のガイドラインである色彩計画のマンセル値^注を確認し進達している。届出者に対しては外国人、日本人に限らず、無届けで施行する業者や個人がいること、届け出と異なる色にすることが見受けられる。通報があった場合には村の基準を説明し指導しているが、塗り直しまでは命令できないのが現状。当村は日本人、外国人を問わず多様な方々が居住し、色彩についても様々な意見があり、専門家からの意見聴取、色彩セミナー受講、建築業組合との勉強会等をしている。色彩のみに特化せず、全体の一部としてとらえることが重要。施主の好みで業者が板挟みになることがある。

問 外国籍所有者敷地内の消火栓移動は

答 外国籍所有者を問わず、地区で協議して頂き、移転先所有者の同意を得て、役場に申請してもらう。

問 本通りの除雪不備と接触事故等の関係は

答 小区画の分譲開発地であることから、難しいものと理解しているが、委託業者には丁寧な除雪を行うよう指導している。地区としても雪捨て場の確保や道路近くまで物を置かないといった、除雪のし易い環境整備をする必要がある。大雪の際には通行制限を行い、大型ダンプによる排雪作業を行うことも想定している。

問 区への加入状況と今後の対策は

答 地区の紹介表等を渡し加入を依頼

問 区への加入状況

答 新たに転入された方には、各地区の紹介表等を渡し行政区加入をお願いしている。各区の規約等を窓口で渡すには限界がある。地区の概要、予算連絡先等を1枚のペーパーにまと

め渡している。また、昨年度からエコーランド区の取り組みを参考にして外国人向けのチラシも作成している。

問 加入対策は

答 地区の行事等には参加したり、必要な負担金は支払いつても良いが、地区役員等の割り当てはご容赦したいという

ような人達が増えつつあり、都会の波が白馬にも押し寄せていて、対応に苦慮しているのが現実である。

注 マンセル値：色相（10種の基本色）と明度（色の明るさを0〜10段階に）、彩度（鮮やかさを0〜14段階）を組み合わせた国際基準尺度で景観策定等に用いられる数値



外国人客が集まるエコーランドメインストリート

問 ヤフーとの連携協定は

答 一定期間経過により見直しへ



津滝俊幸 議員

【産学官連携や官民連携】

問 ヤフー(株)との連携協定を見直しを行う理由は。

答 平成26年より連携協定を締結。ICT教育やプログラミング教室、テレワーク事業等で成果があった。一定期間が経過し、ヤフー側から協定内容や旧ノルウェービレッジの賃貸借契約の見直す旨の相談があり、村でも同調し連携内容について調整を進めている。

問 S Bドライブとの連携協定の進捗状況は。

答 28年に自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの実用化について連携協定を締結。現在、主立った成果は挙がっていない。今後協定を見直したい。

問 信州大学との連携協定の進捗状況は。

答 27年より連携協定し、本年4月に更新。連携事業はユニバーサルツーリズム推進人材育成事業、神城断層地震震災アーカイブ関連事業、地域公共交通網形成計画策定事業、木質バイオマス関連事業、白馬高校魅力化プロジェクト等順調に進んでいる。

問 連携事業に伴う人事交流は。

答 民間と行政は異なる組織。職員が研鑽と視野を広げることが良い経験だ。人事交流による資質向上を前向きに考えたい。

問 未来投資促進法に基づく連携事業の進捗は。

答 第4駐車場の新商業施設は、環境基本条例に基づく事前協議を9月に、11月2日に環境保全協定を締結。12月に開発申請が提出された。実施設計に着手し、工事請負会社が決定と聞く。

問 ペーパーレス化の推進は

答 進めるべき行政改革の一つ

【文書管理】

問 管理方法については。

答 公文書は白馬村文書管理規定に基づき管理している。また会議資料、相談交渉記録、首長への説明資料等も、メモ書きを除き公文書に当たるので同様の規定により管理している。

問 公文書の公開・非公開の判断は。

答 白馬村情報公開条例に基づき行っている。

問 ペーパーレス化の推進は。

答 働き方改革の観点から、業務改善に取り組みよう指示。時間管理や生産性向上、会議の見直しや廃止など発想を転換し着手する。改革の一要素としてペーパーレス化に取り組み、資料作成や配布など他律的に時

間が制約され、とらわれる事が無いようにする。

問 軽減税率の情報提供は

答 さまざまな媒体を利用して周知する

【消費税10%に伴う行政対応】

問 条例改正は。

答 必要なものから改正を検討していく。

問 31年度予算への対応は。

答 歳入では市町村交付金が増額の見込みであるが、どのくらい増やされるかは動向を注視。歳出では当初予算に見込めるものは計上する。但し事務処理が遅れたからと翌年度になつてからの補正要求は認めないと再三指示している。



煩雑な書類の中で仕事をする職員の仕事の机。ペーパーレスが急務では！

問 外国人生徒へ更なる日本語教育充実を
答 効果的な教育支援を進めたい



田中麻乃 議員

問 外国人児童生徒への教育支援

白馬北小PTA主催で外国人を保護者を持つ家庭を主に話を聞く場を持たれた。その中でも進学関係、語学の不安があったのでサポートをお願いしたい。進学を見据えた日本語学習の小中学校サポート体制については。

答 週に1時間の日本語指導教室では、日本語だけでなく教科の学習内容を理解するための学習をしている。保護者にも日本の教育、高校の受験の仕方も丁寧に説明する必要がある。

問 日本語指導教室が週に1時間だけでは日本語を習得できず悩んでいる生徒の話も聞いている。自治体の学習支援

だけでなく、選択肢を増やすことも大事では。ネット環境さえ整えば、場所を選ばずリアルタイムで日本語教室をウェブで提供できる実績高いNPO法人もある。このような外部機関を活用してはいかがか。

答 先進自治体の教育教材や子供たちに出すお便りなど、文部科学省が集約したカスタネットというウェブサイトがある。こういったものを活用して情報提供も学校を通して外国籍世帯に周知することも可能と考えている。

問 就学前の外国人児童生徒、保護者向けの就学ガイドダンスの充実やプレスクール等の実施は。

答 今回の状況では非常に難しい。今後研究していくべき部分である。

問 職員離職について 庁内での精査は
答 退職理由は 個々に聞いている

問 庁内の職場改善

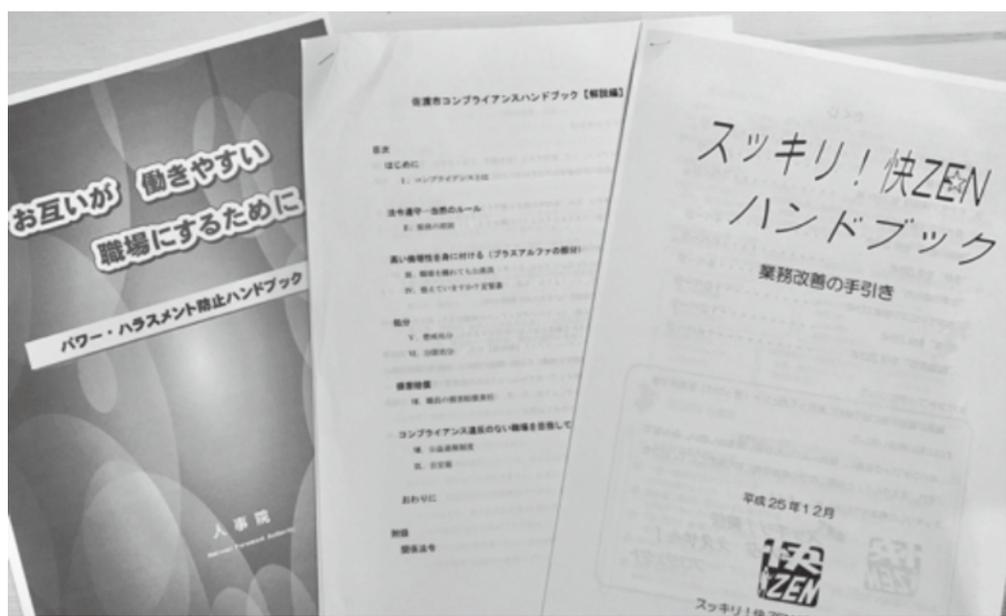
昨年度からの新卒・中途採用数と離職率は。

答 平成30年は、一般職の新卒区分3名、社会人枠区分3名で、専門職は3名。29年は新卒区分1名、専門職2名の採用。中途退職者数は、30年度で4名、29年度で4名となり、うち勤務年数3年以内の退職者は3名。この2年間で勤務年数3年以内の離職率は27・3%。

問 役場におけるハラスメント関係の相談件数や内容は。

答 ハラスメントという事象で退職があったとの把握はしていない。個々の職員の事象は個々に理由を聞いており、理由が多岐にわたる。

問 職員の悩み相談の場として役場には衛生委員会があるとのことだが、形骸化していて改善が必要ということはないか。
答 第三者的ではないので、相談がしづらいところもある。町村会の公平委員会での苦情相談制度が第三者的な町村でやっている処理の仕方。職員のほうには周知している。



他自治体が作成したコンプライアンスハンドブックや職員自らが業務改善計画を冊子にしたもの。白馬村行政もコンプライアンスマニュアルを職員に徹底していただきたい。左人事院、中央佐渡市、右橋本市。

訂正：前回126号にて誤字がありましたので、下記の通り訂正させていただきます、お詫び申し上げます。【誤】解放→【正】開放

問 図書館複合施設への村長の考えは

答 議論を踏まえて段階が来れば示す



丸山勇太郎 議員

【図書館複合施設】

問 平成34年度完成を目指す図書館複合施設は、長野オリンピック以降の最大公共施設事業になる。基本構想策定段階から場所の問題も含めて実現への落とし込みができるのか不安。担当課、イニシャルコストの想定、特定財源、図書館長の考えを問う。

答 年度内には有識者会議において、複合化する機能の絞り込み、事業費の目安、建設用地についても方向性を出す。基本構想と基本計画までは総務課以降は生涯学習スポーツ課に所管させる。イニシャルコスト・財源・館長は、複合化する機能次第であり、有識者会議の検討段階では言えない。

問 村長の腹積もりを聞いています。すべて有識者会議に丸投げなのか。村が考えなければならぬこともある。場所と予算はある程度示していくことが良いのでは。村のことを一番分かっているのは職員であり村長であるはずだ。村長自身が考えを持ち示唆することが大事。

答 今は色々な意見を聞く段階。有識者会議の議論が煮詰まった時点で示す。

問 複合施設とするものは、こども・子育て支援施設だと思いがいかか。

答 それは最低限必要だと思っている。

問 図書館は学校近くにあつたほうが良い施設。避けたい通れない統合小学校への建替え構想とは、場所(位置)という面で双方に影響する。この際学校のことも本気の検討に入る考えは。

答 教育長 小学校統合と小中一貫は、双方を含めた中で検討していかなければいけない。小学校から1km以内に図書館は必要。

問 小学校建て替えを含めたグラウンドデザインをまず創るべきでは。

答 学校統合議論はこれまで避けてきた。課題としては大変重要だが、さりとてそれで図書館を先延ばしすることはない。

問 予算編成方針と課題への予算措置は

答 将来を見据えた予算編成をする

【新年度予算編成】

問 村長が職員に示した予算編成方針と、気になる課題、①学校へのエアコン、②広報不備を補つスマホアプリ、③ウィング21雨漏り対策、④議会全協室の録音不備、⑤小水力発電について伺う。

答 総合戦略・総合計画の目標達成に向けた取り組み、将来を見据えた地域力向上を目指すよう指示した。真に必要な

事業を取捨選択して進めていく。課題の①～④までは予算措置する。⑤は予算措置こそしないが研究を進める。

答 一概に良い悪いは言えない。マンパワーが不足する中で一定の委託は今後も行っていくが、役場が主体的に作るこの意識を職員に徹底する。

問 各種計画策定に多額の委託料を盛つての外注が多いことについての見解は。



松川村の図書館複合施設「すずの音ホール」
ここは建築費用の上限を10億円と決めて建設した。
広々とした公園を併設し、理想的な環境を整えている。

問 区への加入促進の指導ができないか

答 任意団体のため個人の意思が原則



太田正治 議員

【区への加入】

問 最近加入する方が少なく、人手不足や事業運営等大変しい状況。委員会を立ち上げ行政で加入促進を検討できないか。

答 自治会・行政区は任意団体であり、加入・脱退は、個人の意思によることが原則。

問 他の市町村でも同じ悩みを持っているが、他に良い方法はないのか。

答 法的な面も含めて良い方法がないか弁護士とも相談したところ、任意団体であるため、行政の介入は難しいとのアドバイスを受けている。現在のところ、検討委員会等の立ち上げの予定はない。ただし区未加入者

に対する共益費など一定の負担方法については、引き続き検討。

問 白馬駅周辺の開発は

答 中長期的“まちづくり(案)”で検討

【白馬駅周辺の開発】

問 駅西側には公営の駐車場がなく、シーズンになると駅構内の駐車場が満車となり、困っている方が多くいる。駅東側は笠地蔵や「詩の小径」と「ミニミニティ広場が整備され、来訪者が

多いが、駅東側の既設道路の拡幅と公営の駐車場をつくる計画がないか。

答 今後は中長期的な“まちづくり(案)”として継続して検討。

問 白馬駅東西通路構想について、行政は現状を把握しているのか。JRとどのような話になっているのか。

答 歩行者だけでも木流用水路脇を通れないか現場を確認したが、橋桁の高さが不十分であり、具体的な検討に至らぬまま断念したという経過。駅周辺検討委員会の中では、JR側からは駅東側の具体的な“まちづくり計画を決めてからアプローチしてほしいと聞いている。

問 複合施設などに地元産木材の使用を

答 有利な制度があれば活用する

【複合施設の内装材に木材利用を】

問 図書館複合施設の内装材に村産材や県産材を多く使用し、温もりのある建物にする予定は。

答 村産材や県産材の使用の現行の制度は、不特定多数の者が利用する公共施設や公共スペースを対象にして、県産材を活用した展示効果の高い公共施設整備の木造化や木質化に対して助成されるもので、最低事業費500万円、原則として延床面積300㎡以上で、県産材使用が50%以上という採択基準。具体的に図書館の複合施設建設の木材使用については、複合施設の考案の整理や基本計画の策定に有利な制度を活用することになるので、一つの要素としてとらえる。



白馬駅北側木流川に歩行者通路の実現は可能か

問 43%の住民が新公共交通を希望だが

答 一番いいものを創り上げていきたい



加藤亮輔 議員

【地域公共交通（村営バス）の運行を】

問 公共交通のアンケートで、今後のあり方の問いに43%と一番希望が多いのが、新しい公共交通の整備。小学校アンケートでは、自家用車で学校へ送迎が114人35%。送迎に対して64%の保護者が負担に感じている。通学以外でも90%の保護者が子供を送迎。76%の保護者が循環バス、スクールバスの新設を望み、利用したいと回答。中学校アンケートでは、28%が送迎し、66%が負担に感じ、通学以外でも80%の保護者が子供を送迎し、64%が循環バス、スクールバスを希望。

デマンド、ナイトシャトル、スキー場間のバスの運行で希望を

解決できない。新しい公共交通の整備が必要と考えるか。

答 総合的なことを勘案する中で、一番いい方法でこの公共交通をつくり上げていこうと考えている。

問 検討委員会、誰でも乗れる公共バスは検討項目に入っているか。

答 副村長 第2回会議の時点では、取捨選択できる状況ではない。デマンド、シャトルバスがいいのか、別の道があるのか等を検討していくべきと申し上げた。

問 公共交通運行事業に国から8割の特別交付税措置があるか。

答 市町村が生活交通路線維持のため、一般乗合旅客自動車運送事業や自家用有償旅客運送を行う場合、年間の運行経費から運行収入を控除した額の8割について特別交付税措置がされる。

問 行政情報の提供・発信に関する方針は

答 具体的な基本方針を定めていない

【行政情報の村民への提供、公表の改善】

問 村のホームページ（HP）は日々変更されるが、編集はどこで、責任者は誰か。また掲載調整会議の開催と頻度は。

答 記事の編集は基本的には担当者が作成し、課長が確認し承認するのが標準的。責任者は各課長。掲載調整会議は行っていない。

問 HPのトップに村長のページがあり、また「新年明けまして」という文章が掲載されている。月に1回は村長から村民に情報発信しては。

答 大変申しわけない。改善していきたい。

問 村の動向のお知らせから月初めに更新し、定例会での村長挨拶の掲載を提案し

答 村の動向のお知らせから月初めに更新し、定例会での村長挨拶の掲載を提案し

たい。HPで目立つ「新着情報」の掲載基準、期間の決め方は。今月12日に行われる公共交通会議の告知が7日になってもない。掲載不備のチェック体制を課長と担当者任せでは心配だ。

度HP見直し作業中、できるところから統一化を図っていきたい。



大町市民バスは8路線、3循環バスを運行。運賃は大人200円子供100円。



小谷村のスクールバス。小学校の校庭に路線バス(4路線)を乗り入れ安全乗車。

お客さんの「こんなものが欲しい」を形に！ 現場のニーズにこだわり成長

スノーピーク本社視察 11月8日
産業経済委員会



自社製品を使った
ユニークなミーティングルームで商品開発

平日ということもあってか、このスノーピーク本社
のゴルフコースのような敷
地のキャンプサイトには、数
組がテントを張りゆったり
と楽しんでいたので印象的。
区画は設けず自由にキャン
プ設置できるのが売り。
特徴的なのはそのビジネ
ススタイル。マーケティング
はせずに基本はイベントで
集客。スタッフがお客様の
ような感覚でお客さんと接

し、新商品などを気軽に電話
で紹介するとか…。だから
週末のイベントには300
〜400組、お礼のイベント
には5000〜6000人
も訪れたというから驚きで
す。
山登りが好きだった山井
商店創業者は、欲しいもの
が売られていかなかった経験
から、「自分で図面を描いて、
自分たちで作る」ことにした
のが始まり。

企画設計などを行う建物
の前にキャンプ場があるの
で、仕事の合間に外に出てお
客さんと話し、「こういうも
のがあったらいい」を聞き出
し、試作品を作り、検証する、
そんな強みがこの本社とキャ
ンプサイト併設にあるとの
こと。
現場主義に徹しているビ
ジネスモデル、白馬村の観光
にも活かせるのでは…。

教育現場の 生の声を聴く

学校関係者との懇談 11月26日
総務社会委員会



教育の「今」を知る大切な場

11月26日、昨年度に引き
続き小中学校の校長・教頭先
生、並びに村教育委員、教育
長及び教育課を招き懇談会
を開催しました。
先生方の仕事量、通学路の
安全、不登校・いじめの有無
などの実情のほか、施設整備

に関する要望のほか、完成間
近の学校給食センターの運
用や、中学生の地元白馬高校
への進学状況についても懇
談のテーマとなりました。
紙面にてすべてをお伝え
は出来ませんが、いわゆる
サービス残業で子供たちの

ために尽くして下さって
いる状況などをお聞きする
につけ、頭の下がる思いでし
た。様々な今現在の生の義
務教育現場の状況を、私ども
を含め関係者で共有出来た、
有意義な懇談会となりました。

勉強になった 松川・穂高の 図書館複合施設

図書館複合施設視察 10月31日
総務社会委員会



理想的な環境の穂高交流学习センター
「みらい」

10月31日、松川村と安曇野
市の図書館複合施設の視察
を行いました。これは本村
においても、平成34年度を目
標に同じような複合施設建
設の基本構想策定作業を現
在進めているためです。
いずれの施設も平成21年
に完成。図書館を核にし、小
ホールなどを備えた複合施

設であり、松川村の施設は当
初から上限を10億円と定め
て建設。しっかりと土地
利用計画のもと、施設に隣接
する広々とした公園（9億円）
を併設。一方の安曇野市穂
高の施設は、小学校跡地を買
い戻し20億円で建設。ここ
らも敷地の広さを十分活か
した清々しい緑の空間が、図

書館の大きな惹越しに広がっ
ていました。
どちらも大変に参考にな
りました。有識者会議で構
想が練られている最中の本
村の計画。ワークショップ
で熱く語られる夢を実現し、
かくあってほしいものだと
思いました。

表紙の写真説明



飯田区で毎年1月15日ころ行われる正月飾りの火祭り「おん
べやき」。この行事に欠かせないのがこの「花づくり」と子供たち
が果たす役割だ。麻縄につけた「三九郎」と呼ばれる木でできた
男根に擬したものを、区内各戸の玄関先で放り出す。子孫繁栄
を祈願し、だるま、門松、お札などを集める。今ではこの三九
郎を使っているのは飯田区だけとなった。後世に残していきたい
珍しい大切な年中行事だ。

ご意見を
お寄せください。

85-0725(直通)
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える
12月定例会の傍聴者延べ
本会議 25名、委員会 2名 合計 27名

委員会も傍聴できます

次の定例会は 3月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

夢、私たちに。

わたしのひとこと



豊かな田園風景・農業を守る

飯田 横川 一登

少子高齢化・人口減少時代を迎え、農業も高齢化による農業従事者不足が心配されます。農業従事者の減少は、荒廃農地の増加につながり、観光に訪れた皆さんが素晴らしいアルプスの景観に感動しても、その麓に荒れ果てた農地を見るとき、どのように感じるでしょうか。農地も観光に生きる白馬村にとって大きな観光資源の一つであります。

今、農業収入は右肩下がり、農業に魅力が感じられず、健全な農地・農業を守る農業従事者は益々減少の一途。豊かな田園風景を守る農業従事者の確保には、安定した農業所得の向上が第一だと思います。個々経営では、なかなか所得向上も難しいので、所得向上が図れる農業構造の改革が必要ではないでしょうか。白馬村の健全な農地・農業が永続できる体制づくりを望みます。



シニア大学で楽しい日々

森上 峯村 千津子

平成30年5月に入学しました。ずっと行ってみたいかった所ですが、主人の介護と自分のガンの手術でほっとして振り返ったら、70歳になっていました。

お客様より「村外に友達ができてすごく楽しいよ」と聞いていました。入学の時はワクワクしました。クラブ活動もあり、私は炭植栽に入り小谷の先生の炭焼小屋も見せてもらいました。

長野県は長生きしても施設に入っている時間が長いようです。歩くことは頭を鍛えること、寝たきりにならないようにボケないように。信州にはこんな言葉が「キョウイク＝今日行く所がある」、「キョウヨウ＝今日用事がある」。

色々教えていただいても、すぐに忘れてしまう事が残念ですが、健康で過ごさなければという事を一番学びました。一日でも長く元気で過ごせる事を願いながら頑張る日々です。皆様もシニア大学に参加してみませんか。



白馬村と言えは？

佐野 中村 謙仁

白馬村には色々な魅力がありますが、白馬と言えは「これ！」と、白馬村民、日本国民、世界中の人々が同じ答えが出るのでしょうか？私は白馬村を観光地だと思っています。一人でも多くの人に白馬村に足を運んでいただくには、白馬と言えは「これ！」と答えられるものをより洗練し、他との差別化をしていかなければ、生き残るには難しいのではないのでしょうか。

白馬には、山・川・温泉・宿泊施設・飲食店・様々なアクティビティなど魅力はたくさんあります。村として先ずは何処に力を入れていくのか。村をより良いものにしていくには、「白馬と言えは？」を考えていくことが大切だと思います。外国から大勢の観光客の来村がありますが、日本人の観光客はどうでしょう！ここに来て、国内旅行客の誘致に本腰を入れるべきだと思います。

あ と が き

平成最後の正月を迎えた。我が村の平成の一大イベントと言えは、長野冬季オリンピックの開催だ。だが神城断層地震、阪神淡路や東日本など、国全体としては地震や豪雨など多くの災害に見舞われた印象になるか。

天皇陛下最後の誕生日会見では、声を詰まらせながら「平成が戦争のない時代として終わることに、心から安堵している」と述べられた。とにかく戦争がなかった。真に平和を希求された方なのだ。

その平和への思いを次の年号へ受け継がれるのか。戦後憲法に加えられた地方自治の章に恥じない自治ができるのか。議会にも大きな責任がある。

(伊藤まゆみ)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 議長 | 北澤 慎二 郎 |
| 委員長 | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 田中 麻乃 |
| 委員 | 丸山 勇太 郎 |
| 委員 | 太田 正 治 |
| 委員 | 加藤 亮 輔 |
| 委員 | 田中 榮 一 |
| 委員 | 津滝 俊 幸 |

白馬議会だより 127号 平成31年1月31日発行
発行 長野県白馬村議会 編集 議会報調査編集特別委員会 PO印刷(株)
〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村 0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.villhakudai.jp/assembly/assembly.html E-mail: gkai@villhakudai.jp